



宇都宮の「おいしい」をいただきます

11月は新米をはじめ、旬を迎える農産物が豊富な時期です。

この機会に、宇都宮の農産物に関心を持ち、買って、食べて、地元の恵みに触れてみませんか。

☎農林生産流通課 ☎(632) 2843

宇都宮は 農業が盛んな場所

本市は、鬼怒川水系を中心とした豊かな水、肥沃で広大な農地、長い日照時間など、環境に恵まれ、お米を中心に、イチゴやトマト、梨など、さまざまな農産物を生産しています。

地産地消とは

地元で採れた農産物を地元で食べることを地産地消といいます。地産地消は、地元の農業を応援し、地域の活性化につながる取り組みです。また、生産者にとっては安全な農産物を食卓に届けるという生産意欲の向上につながり、消費者にとっては生産者の顔が見え、安全・安心で新鮮な農産物を味わうことができます。

地産地消とSDGs

地産地消は、身近で、簡単にできるSDGsです。輸送によるコストと環境負荷が抑えられ、新鮮なものを安く手に入れることができます。その他、生産者の収入が増え、地域の経済循環を生み出すなど、多くのメリットがあります。

うつのみや地産地消推進店

■うつのみや地産地消推進店とは

☎ 1006942

本市では、積極的に地産地消に取り組んでいる一定の基準を満たした店舗を、「うつのみや地産地消推進店」として認定しています。10月現在、市内には171の店舗があります。

詳しくは、農業王国うつのみや [URL1](#) や市 [HP](#) からご覧になるか、「うつのみや地産地消推進店MAP」を農林生産流通課（市役所7階）や各地区市民センター、図書館などで配布しています。



▲農業王国
うつのみや [HP](#)

■アグリファンクラブ会員になりませんか

「うつのみやアグリファンクラブ」とは、宇都宮の農業を応援するファンクラブです。メールマガジンで、農業イベントや旬の農産物情報、うつのみや地産地消推進店のおすすめメニューをまとめた「推進店だより」などを配信しています。入会方法など、詳しくは、農業王国うつのみや [URL1](#) をご覧ください。



▲農業王国
うつのみや
Instagram

■旬の農産物情報を発信しています

農業王国うつのみや公式 [Instagram](#) では旬の農産物情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。

▼Instagramアカウント名 @agri_utsunomiya

■開催中のイベント

☎ 1027968

1 採れたてうつのみやまるかじりキャンペーン

▼期間 12月15日まで。

▼内容 ミヤリーのシールが付いた宇都宮産農産物を購入し、シールを集めて応募すると、抽選で宇都宮の特産品が当たる。



▲応募シール

2 うつのみや地産地消推進店フェア「デジタルスタンプラリー」

☎ 1028059

▼期間 12月31日まで。

▼内容 宇都宮産農産物を使用した対象メニューを飲食・テイクアウトして、デジタルスタンプを1~3個集めると、抽選で宇都宮の特産品が当たる。

3 地産地消インスタキャンペーン

12の開催期間中、購入した対象商品や飲食したメニューの写真を、Instagramに「#農業王国うつのみや」のハッシュタグを付けて、感想と一緒に投稿した人の中から、抽選で10人に、宇都宮産米食べ比べセットをプレゼント。

■その他 詳しくは、農業王国うつのみや [URL1](#)、市 [HP](#) をご覧になるか、地産地消フェア事務局（栃木リビング新聞社内） ☎(600) 8800へ。

宇都宮のブランド農産物を知っていますか

特集
③

本市では、①豊富な生産量などにより「農業王国うつのみや」のイメージにつながるもの②地域性、ストーリー性などのある「宇都宮ならではのもの」の2つの区分に分けて、ブランド農産物として15品目を推進しています。

「うんまいうつのみや産」のブランドマークが目印です。ぜひ宇都宮自慢のブランド農産物を食べてみてください。

詳しくは、農業王国うつのみや [URL1](#) をご覧ください。

宇都宮の「お米」

水田は本市の耕地面積のうち8割を占め、鬼怒川、田川、姿川の流域に沿って米作りが盛んに行われています。

品種は、「コシヒカリ」を中心に、厳選されたコシヒカリを集めた「みやおとめ」、宇都宮大学が育成した「ゆうだい21」など、特徴のあるお米が生産されています。

新米のおいしい時期に、ぜひご賞味ください。



▲▼ブランドマーク



宇都宮の「梨」

本市は、作付面積全国3位、県内1位(※)を誇る全国有数の梨の産地です。

「幸水」や「豊水」でおなじみの日本梨が、7月の「ハウス幸水」から11月の「にっこり」まで、品種を変えて盛んに生産されています。

※JAうつのみや2020年度産データ

宇都宮の「大谷夏いちご」

今年から生産者が増え、大谷夏いちごの生産量が増えています。

大谷夏いちごは、6～11月が旬の夏いちごで、大谷地域で栽培された「なつおとめ」を大谷夏いちごとして販売しています。大谷石の採石場跡地に溜まる冷水を利用して、いちごの周りの温度を下げて栽培しています。電気や燃料を使って冷やす場合と比べてCO₂排出量を約6割削減でき、環境に優しく栽培することができます。



■うつのみやの旬カレンダー

宇都宮には、紹介した農産物以外にも、農産物がたくさんあります。旬の季節に美味しい農産物を楽しみましょう。



▲農業王国うつのみや [URL2](#)
うつのみやの旬カレンダー

ギャップ GAP 認証生産者を紹介します

☎農林生産流通課 ☎(632) 2466

GAPは、安全安心な農産物をつくるために農業者が適正な手順や物の管理を行うための仕組みです。

これには、農作業の安全管理や環境保全の取り組みも含まれていて、SDGsの目標達成にも貢献します。

GAPには、農業者の取り組みを認証する制度があり、今回は、最も基準の厳しい国際水準の「グローバルGAP」の認証を受けた市内の農業者を紹介します。

市内のGAP認証生産者について、詳しくは、市 [URL](#) をご覧ください。

☎ 1027598



▲市 [URL](#)

■GAP認証を受けている農業者の声

GAPで取り組んでいることは、農家として安全・安心でより良い農産物を作る上で当たり前のことばかりですが、GAP認証取得を目指す中で、自分一人では気付けなかったことに気付く機会になりました。

梨の輸出も行っていますが、グローバルGAPを取得していることが、取引先の信頼につながり、強みになっています。

GAPの取り組みで農園内の整理整頓や分かりやすい表示をすることで、スタッフ全員が道具の場所を把握し、効率良く作業ができるようになります。

また、常に農園や作業場を安全な場所にできるので、直売所に来たお客さんに、農園を自由に見て回ってもらっています。

直売所には、関東近辺の方ももちろん、関西から買いに来てくださるお客さんもいて、北海道から沖縄まで全国からの注文もいただいています。

直売所では、8～11月までおいしい梨を販売していますので、ぜひお越しください。



山口果樹園
山口 幸夫さん